

第2次素案(前回提示)	修正案	修正の趣旨
<p><b>3 「教職員の力」を伸ばす</b></p> <p><b>【背景・目的】</b>                      社会の状況が大きく変わり、学校、家庭、地域の連携が進められる中で、教育に求められる役割も変化しています。子どもたちの健やかな成長を支えていくために、教職員及び管理職は、日々、自己の成長のために研修を深め資質や能力を向上させていかなければなりません。子どもの成長に大きな役割を果たす教職員は、人間的魅力を備え、自らの指導力を高め、学校経営の一翼を担っているという意識を持ち、活力ある教育実践に取り組むことが必要です。また、保護者や地域住民から信頼される管理職となるには、自らの考えをしっかりと持ち、教職員の先頭に立って学校経営や教育活動に取り組んでいかなければなりません。</p> <p>本重点施策では、教職員が自らの力を伸ばし、本市の教育改革を第一線で推進していくための支援を行っていくことを目的とします。</p> <p><b>【内容】</b>                      教職員が創意工夫を発揮し、自らの能力を十分に発揮できるように人事評価制度を見直します。また、教職員や管理職に求められる能力や資質を満たした人材を登用できるように、教職員の採用方法の改善や管理職登用制度の見直しを行います。</p> <p>さらに、教職員の指導力等を高めるために研修プログラムを再編し、優れた教育実践が普及するように努めます。また、総合教育センターの機能強化、教員に対する専門家等の支援などにより、学習指導や生徒指導などに関する教職員への支援体制を強化します。</p> <p><b>【展開する事業】</b>  <b>人事評価制度の見直し</b>                      教職員が自ら能力を高めて、子どもたちにより効果的な指導を行い、保護者のニーズに柔軟に対応することなどにより、学校全体の教育活動の質的向上が促進されるよう、人事評価制度を見直します。</p> <p><b>教職員の採用方法の改善</b>                      人間的魅力を備え、創意と活力に溢れた人材を採用できるように採用試験の方法等を改善していきます。</p> <p><b>管理職登用制度の見直し</b>                      リーダーシップを発揮して学校経営や教育活動に取り組み、保護者や地域住民から信頼される管理職を登用するために、登用における公平性や透明性を高めるとともに、民間からの登用なども含めて検討し、活力ある人材登用に努めます。</p>	<p><b>3 「教職員の力」を伸ばす</b></p> <p><b>【背景・目的】</b>                      社会の状況が大きく変わり、学校、家庭、地域の連携が進められる中で、<u>学校教育</u>に求められる役割も変化しています。子どもたちの健やかな成長を支え、<u>保護者や地域住民から信頼される教職員となるためには</u>、日々、自己の成長のために<u>研さんを積み</u>、資質や能力を向上させていくことが求められています。子どもの成長に大きな役割を果たす教職員は、人間的魅力を備え、自らの指導力を高め、学校経営の一翼を担っているという意識を持ち、活力ある教育実践に取り組むことが必要です。また、<u>学校の管理職は</u>、自らの考えをしっかりと持ち、教職員の先頭に立って学校経営や教育活動に取り組む必要が<b>あります</b>。</p> <p>本重点施策では、教職員が自らの力を伸ばし、本市の教育改革を第一線で推進していくための支援を行っていくことを目的とします。</p> <p><b>【内容】</b>                      教職員が創意工夫を発揮し、自らの能力を十分に発揮できるように人事評価制度を見直します。また、教職員や管理職に求められる能力や資質を満たした人材を登用できるように、教職員の採用方法の改善や管理職登用制度の見直しを行います。</p> <p>さらに、教職員の指導力等を高めるために研修の<b>全体構想を見直し</b>、優れた教育実践が普及するように努めます。また、総合教育センターの機能強化、教員に対する専門家等の支援などにより、学習指導や<u>児童</u>生徒指導などに関する教職員への支援体制を強化します。</p> <p><b>【展開する事業】</b>  <b>人事評価制度の見直し</b>                      教職員が自ら<u>の</u>能力を高めて、子どもたちにより効果的な指導を行い、保護者のニーズに柔軟に対応することなどにより、学校全体の教育活動の質的向上が促進されるよう、人事評価制度を見直します。</p> <p><b>教職員の採用方法の改善</b>                      人間的魅力を備え、創意と活力に溢れた人材を採用できるように採用試験の方法等を改善していきます。</p> <p><b>管理職登用制度の見直し</b>                      リーダーシップを発揮して学校経営や教育活動に取り組み、保護者や地域住民から信頼される管理職を登用するために、登用における公平性や透明性を高めるとともに、民間からの登用なども含めて検討し、活力ある人材登用に努めます。</p>	<p><i>「保護者などからの信頼を得ることが重要なのは管理職だけではない」との委員からの指摘を受け、修正所管課等の修正意見を受け修正</i></p> <p><i>所管課等の修正意見を受け修正</i></p>



第2次素案（前回提示）	修正案	修正の趣旨
<p><b>4 「地域に開かれた学校施設」にする</b></p> <p>【背景・目的】                      学校は、子どもたちの教育を担う重要な教育機関であるとともに、市内全域に設置されている市民の財産です。学校を、子どもと大人が様々な活動を通してふれあう地域コミュニティの拠点としていくために、子どもだけでなく地域のあらゆる人々の学びや活動の場であるにとらえ、地域の人にとってより身近な施設にしていく必要があります。</p> <p>また、多くの市民に安心して使用してもらえるように、より安全な学校施設が必要とされています。</p> <p>本重点施策では、学校を地域コミュニティの拠点として整備し、子どもや市民にさまざまな学びや活動の場を提供することを目的としています。</p> <p>【内容】                      学校を子どもと大人が安心して使える地域コミュニティの拠点としていくために、利用しやすく、安全で快適な学校施設の整備を計画的に進めていきます。また、市民の学びの場としての機能を強化するために、体育館・校庭などの開放、再転用可能教室・特別教室の有効活用や、他の公共施設との合築・複合化を進めていきます。</p> <p>また、学校施設と市民館や図書館などの社会教育施設や、こども文化センターや老人いこいの家などの施設との連携を深め、日常生活圏における市民の学習活動の場としての機能充実を図ります。</p> <p>さらに、学校と地域の連携を推進する地域教育サポーター制度を構築します。</p> <p>【展開する事業】  <b>計画的な学校施設の整備</b>                      地域と学校が共に利用できる、より安全で快適な教育環境を目指して、学校の適正規模・適正配置を踏まえた新築・改築・改修を行います。</p> <p><b>校舎の耐震性の確保</b>                      児童生徒の安全を確保するとともに、地域コミュニティの拠点や地域の防災拠点として、安心して学校施設を利用してもらうために、校舎の耐震補強を行います。</p> <p><b>学校の適正規模・適正配置</b>                      児童生徒数の伸びに地域差があり、学校規模に地域間格差が広がってきているため、社会・地域の実情を考慮し、学校の適正規模・適正配置を推進し、子どもたちの良好な教育環境を確保していきます。</p> <p><b>学校施設の有効活用の推進（再掲）</b>                      再転用可能教室・特別教室等の有効活用により、学校施設の中に市民のためのコミュニティスペースや総合型地域スポーツクラブの活動拠点等を整備し、市民の学びや活動の場に対するニーズに応えていきます。</p>	<p><b>4 「地域に開かれた学校施設」にする</b></p> <p>【背景・目的】                      学校は、子どもたちの教育を担う重要な教育機関であるとともに、市内全域に設置されている市民の財産です。学校を、子どもと大人がふれあうコミュニティの拠点としていくために、子どもだけでなく地域のあらゆる人々の学びや活動の場であるにとらえ、<u>市民</u>にとってより身近な施設にしていく必要があります。</p> <p>また、多くの市民に安心して使用してもらえるように、より安全な学校施設が必要とされています。</p> <p>本重点施策では、学校を<u>コミュニティ</u>の拠点として整備し、子どもや市民に<u>様々な</u>学びや活動の場を提供することを目的としています。</p> <p>【内容】                      学校を子どもと大人が安心して使える<u>コミュニティ</u>の拠点としていくために、利用しやすく、安全で快適な学校施設の整備を計画的に進めていきます。また、市民の学びの場としての機能を強化するために、体育館・校庭などの開放、再転用可能教室・特別教室の有効活用や、他の公共施設との合築・複合化を進めていきます。</p> <p>また、学校施設と市民館や図書館などの社会教育施設や、こども文化センターや老人いこいの家などの施設との連携を深め、日常生活圏における市民の<u>学びの</u>場としての機能充実を図ります。</p> <p>さらに、学校と地域の連携を推進する地域教育サポーター制度を構築します。</p> <p>【展開する事業】  <b>計画的な学校施設の整備</b>                      地域と学校が共に利用できる、より安全で快適な教育環境を目指して、学校の適正規模・適正配置を踏まえた新築・改築・改修を行います。</p> <p><b>校舎の耐震性の確保</b>                      児童生徒の安全を確保するとともに、<u>コミュニティ</u>の拠点や地域の防災拠点として、安心して学校施設を利用してもらうために、校舎の耐震補強を行います。</p> <p><b>学校の適正規模・適正配置</b>                      児童生徒数の増減に地域差があり、<u>学校の規模別格差</u>が広がってきているため、社会・地域の実情を考慮し、学校の適正規模・適正配置を推進し、子どもたちの良好な教育環境を確保していきます。</p> <p><b>学校施設の有効活用の推進（再掲）</b>                      再転用可能教室・特別教室等の有効活用により、<u>学校施設の中に生涯学習や市民活動、総合型地域スポーツクラブ等の拠点を整備し</u>、市民の学びや活動の場に対するニーズに応えていきます。</p>	<p><i>所管課等の修正意見を受け修正 前段で「市民」の財産としているため</i></p> <p><i>地域とコミュニティは重複した表現のため修正</i></p> <p><i>前段で「学びの場」としているため、 整合を図った。</i></p> <p><i>所管課等の修正意見を受け修正</i></p> <p><i>所管課等の修正意見を受け修正</i></p>

